

第3学年 国語科学習指導案

学 年 3学年 男15名 女9名 計24名

指導者 山 口 直 子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物はかせになろう」

2 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期に「ありの行列」を学習し、「問い」を解決するために、どのような観察と実験が行われたのか、時間を表す言葉や主語述語の関係などに注意しながら、段落ごとの要点を読み取る学習を行ってきた。また、形式段落の大きなまとまりに目を向け、全体の文章の構成を考え、段落の持つ役割を考えることができた。

児童は、授業の中で全員で一緒に読み取っていくと、段落ごとの内容は理解できるようになってきている。しかし、サイドラインを引いたり、書き込みをしたりする力には大きな個人差が見られる。また、事前テストの結果から、自分で中心文を見つけたり、要点をまとめたりできない児童も多く、文章の読み取りについても大きな個人差があることが分かった。

(2) 教材について

本単元における「読むこと」の主な指導事項は、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」(読むことイ)である。

本単元は、説明文教材を段落やキーワードなどに注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。

本教材は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思えないものが多く、児童が関心を持って学習することができる内容といえる。教材文は、段落構成やキーセンテンスやキーワード等も明確で要点をとらえる学習にも適しており、後の書く活動のよい参考例ともなる。

(3) 指導について

「つかむ」では、まず、題名をもとに大豆を使った食品について知っていることを発表し合い、書かれている事柄に興味・関心をもって読み進めることができるようにしたい。また、「すがたをかえる大豆」の読み取りの学習をもとに、「食べ物はかせになろう」では、興味を持った食べ物について自分で調べて文章にまとめ本を作る学習をすることを知らせ、学習の見通しを持たせていきたい。

「深める」では、大豆をおいしく食べる工夫と食品について、段落ごとの要点を読み取っていく。その際、接続語や指示語の役割、段落の関係を考えながら、内容を読み取ることができるようになりたい。そして、昔の人々の知恵で、大豆はこんなにもおいしく食べるくふうがされているのだということに気付かせたい。文章全体の構成を考えていく学習では、「始め」と「終わり」の部分の役割について考え、そのうえで「中」の役割を確認しながら、段落相互の関係を押さえさせたい。

「広げる」では、興味を持った食べ物について調べたことを文章にあらわし、さらにグループごとでまとめて本を作る。その際、みんなに紹介するという目的意識を持たせて学習に取り組ませたい。

(4) 家庭学習と授業とのつながりについて

つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 語句調べ
深める	<ul style="list-style-type: none"> 音読（予習・復習） 次時に学ぶ段落をノートに視写 授業作文
広げる	<ul style="list-style-type: none"> 音読（まとめの読み） 関連図書の読書

3 単元目標

(1) 関心・意欲・態度の目標

◎ 食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。

(2) 能力の目標

◎ 段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読むことイ)

○ 内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。
(読むことエ)

○ 書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書く。(書くことイ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の目標

○ 文章全体における段落の役割を理解することができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ク)

4 単元の指導・評価計画（「読むこと」8時間 「書くこと」10時間 全18時間）

過程	時	学習活動（指導内容）	評価規準		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての 知識、理解、技能
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> 題名から、内容を想起する。 全文を読み、感想を書く。 新出漢字の練習をする。 	「すがたをかえる大豆」について興味を持ち、進んで読もうとしている。	初めて知ったことや驚いたことを感想に書いている。	新出漢字の練習を正しく行っている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> 段落に番号をふりながら全文を通読する。 段落ごとに大豆から作られている食品をつかむ。 学習計画を立てる。 	「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」の学習の見通しを持つようとしている。	大豆からできる食品を読み取ることができる。	文章がいくつの形式段落からなるかを押さえている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> 第1・2段落の、話題提示と大豆の説明を読み取る。 	話題提示と大豆の説明を進んで読み取ろうとしている。	話題と大豆の説明を読み取っている。	「問いかけ」と「答え」の文型を押さえている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> 第3・4段落の、おいしく食べる工夫について読み取る。 	第3・4段落の、おいしく食べる工夫について進んで読み取ろうとしている。	いったり煮たり挽いたりして大豆をおいしく食べる工夫について、正しく読み取っている。	人が大豆に手を加えるときの言葉を押さえている。

深 め る	1 本 時	・第5・6段落の、おいしく食べる工夫について読み取る。	第5・6段落の、おいしく食べる工夫について進んで読み取るようとしている。	栄養を取り出したり小さな生物の力をかりたりして違う食品にする工夫について、正しく読み取っている。	人が大豆に手を加えるときの言葉を押さえている。
	1	・第7段落のおいしく食べる工夫と、第8・9段落の大豆がいろいろな姿で食べられているわけを読み取る。	第7段落のおいしく食べる工夫と、第8・9段落の大豆がいろいろな姿で食べられているわけを進んで読み取るようとしている。	取り入れる時期や育て方の工夫と、大豆がいろいろな姿で食べられているわけを正しく読み取っている。	「これらのほかに」の指示語をとらえている。 「このように」の働きを考えている。
	1	・「すがたをかえる大豆」の文章の書き方について考える。	「すがたをかえる大豆」の文章の書き方について進んで考えようとしている。	「始め」「中」「終わり」の大きなまとまりを理解している。	
	1	・それぞれの段落の小見出しを考え、文章構成を確認する。	進んで小見出しを考えようとしている。	大きなまとまりを理解し、それぞれにどのようなことが書かれているのかをおさえている。	文章構成を理解している。
広 げ る	1	・「食べ物がかせになろう」の学習の進め方を確かめる。	身近な食べ物について、進んで調べようとしている。	<以下、書く技能> どのような順序で調べ学習を行うか理解している。	
	1	・調べたい食べ物を決める。	調べたい食べ物を進んで決めようとしている。	調べたい食べ物を決めている。	
	1	・教科書p30「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。	本での調べ方を、進んで知ろうとしている。	題名やキーワードを手がかりに本を探したり、目次や索引を検索したりして必要な情報を探したりする方法を理解している。	
	2	・本で調べたことをカードに書き、整理する。	進んで本を探し、調べようとしている。	調べたことをカードに書き、必要な情報を収集・整理している。	要点をしぼって、カードに書いている。
	2	・カードをもとに、文章にまとめる。	調べたことを、進んで文章にまとめようとしている。	調べたことを、文章構成を考えて文章にあらわしている。	「始め」「中」「終わり」の文章構成で書いている。
	2	・文章や言葉に間違いがないか推敲し、ていねいに清書する。	文章や言葉に間違いがないか進んで推敲しようとしている。	段落や主述や誤字に気をつけて推敲をしている。	
	1	・文章をまとめ、本を作る。 ・お互いにできた本を読み合い、感想を書く。	進んで本を作ろうとしている。	友達の文章のよさに気づいて、感想を書いている。	説明型の文章構成のよさに気づいている。

5 教材分析

<p>言語事項</p>	<p>〈キーワード〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ほとんど毎日、口にしている、大豆 ② おいしく食べるくふう ③ いったり、煮たり ④ 粉にひいて ⑤ 栄養だけを取り出す ⑥ 小さな生物の力 ⑦ 取り入れる時期や育て方をくふう ⑧ 多くの食べ方が考えられた ④ 昔のひとびとのちえ <p>〈接続語〉 いちばん分かりやすいのは、次に、また、さらに、これらのほかに、</p> <p>〈指示語〉 それ（は）、これ（が）、そのため、これ（に）、その（後）、それ（と）、このように、その（うえ）</p> <p>〈文末表現〉 ～です。 ～するくふうです。 ～ます。 ～ためでもあります。～されます。</p>
<p>要 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ほとんど毎日大豆を食べているが、いろいろな食品にすがたをかえているので気づかれない。 ② かたい大豆は、そのままでは食べにくく、消化もよくないので、いろいろ手を加えておいしく食べるくふうをしている。 ③ 大豆をその形のままでいったり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふうで、いり豆やに豆になる。 ④ 大豆をこなにひいて食べるくふうで、きなこになる。 ⑤ 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふうで、とうふができる。 ⑥ 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうで、なっとうと、みそやしょうゆができる。 ⑦ とり入れる時期や育て方をくふうすると、枝豆やもやしができる。 ⑧ 味もよく、たくさんのえいようをふくんでいて、多くのちいきで植えられたから、大豆はいろいろなすがたで食べられている。 ⑨ 大豆のよいところに気づき、食事に取り入れた昔の人々のちえにおどろかされる。
<p>文章構成</p>	<p style="text-align: center;">③－</p> <p style="text-align: center;">⑧－ ④－</p> <p style="text-align: center;">－ ⑤――②－①</p> <p style="text-align: center;">⑨－ ⑥－</p> <p style="text-align: center;">⑦－</p>
<p>要 旨</p>	<p>大豆が味もよく、たくさんのえいようをふくんでいるから、大豆はいろいろなすがたで食べられている。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされる。</p>
<p>発 展</p>	<p>調べたい食べ物についての情報を収集したり取捨選択したりしながら、文章にまとめる。</p>

6 本時の指導

(1) ねらい

大豆をおいしく食べる工夫を、正しく読み取ることができる。

(2) 展開

	学習内容・学習活動	・教師の働きかけ 「主発問」 ○評価（評価方法） ●家庭学習を生かした働きかけ
つかむ (5分)	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">大豆をおいしく食べるくふうを読み取ろう。</div>	<p>●前時の授業作文を紹介し、本時の学習に生かすようにする。</p> <p>・1つ目と2つ目の「工夫」と「食品」について振り返りながら、本時の学習に対して意欲を持たせる。</p>
深める (35分)	<p>3 学習する段落を音読する。</p> <p>4 課題を解決する。</p> <p>(1) 大豆をおいしく食べる3つ目の工夫と食品を読み取る。(⑤段落)</p> <p>(2) ⑤段落をくわしく読み取る。 【収束する学び合い（全体）】</p> <p>(3) 大豆をおいしく食べる4つ目の工夫と食品を読み取る。 【一人学び】(⑥段落) 【収束する学び合い（全体）】</p>	<p>・課題を意識しながら音読させるようにする。</p> <p>●家庭学習での音読を評価し、次の音読の意欲へと結びつけたい。</p> <p>「大豆をおいしく食べる3つ目の工夫は何ですか。」</p> <p>・サイドラインを引き段落の中心文を意識させ、ノートにまとめさせる。</p> <p>・サイドラインを引けない子には、「くふう」に着目させる。「また、どんな食品ができますか。」</p> <p>・食品を丸で囲ませる。</p> <p>「大切な栄養だけを取り出して、ちがう食品にするくふうについてくわしく読み取りましょう。」</p> <p>・人が大豆に手を加える時の言葉（述語）を手掛かりに、豆腐ができあがる過程を順序におさえる。</p> <p>「大豆をおいしく食べる4つ目の工夫と、どんな食品ができるかをまとめましょう。」</p> <p>・大きく分けて、2種類の食品について書かれていることをおさえてから、一人学びに入らせる。</p> <p>・終わった人は、その食品がどのようにしてできるかも順番に書きこませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈具体的評価基準〉</p> <p>A 中心となる語や文を見つけ、大豆をおいしく食べる工夫を読み取り、的確に文にまとめている。</p> <p>B 中心となる語や文を見つけ、大豆をおいしく食べるくふうを文にまとめている。</p> <p>Cへの支援</p> <p>・重要語句を入れてまとめられるようにプリントを用意する。</p> </div>

	<p>5 大豆をおいしく食べる工夫について確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なっとうができあがる過程、そして、みそやしょうゆができあがっていく過程を「手を加える時の言葉」を手掛かりに読み取っていく。 「どうしてこのような工夫をするのでしょうか。」 かたい大豆を、おいしく食べるため。 食べやすく、消化もよくするため。 「1つ目・2つ目の工夫と、今日勉強した工夫を比べると、どんなことが違いますか。」 1つ目・2つ目の工夫より、作るのに手間がかかっている。 大豆の形が分からなくなっている。 ・板書で学習をふり返りながら、大豆をおいしく食べる工夫について確かめる。
<p>まとめ (5分)</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>(2) 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をふり返り、自分の読み取りへの達成感を持たせるようにする。 ●家庭学習で今日学習した大豆をおいしく食べる工夫について授業作文を書くように働きかける。 ・次時の学習内容の予告をする。 ○大豆をおいしく食べる工夫を、正しく読み取ることができたか。(ノート、発言)

(3) 板書計画

<p>大豆をおいしく食べるくふうを読み取ろう。</p> <p>第五段落 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう。</p> <p>かたい大豆 すりつぶす ↓ 白っぽいしる しるを熱する しぼり出す ニガリをくわえる とうふ</p> <p>第六段落 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。</p> <p>かたい大豆 むす ナットウキンをくわえる あたたかい場所におく なっとう</p> <p>かたい大豆 むした米か麦にコウジカビをませる しおを、大豆にくわえてませあわせる 暗いところにおく みそやしょうゆ</p> <p>作るのに手間がかかっている 大豆の形がわからなくなっている</p>	<p>すがたをかえる大豆</p>
---	------------------